編　集　後　記

2026年の幕開けを迎えましたが，会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨夏は記録的な酷暑が９月以降も続き，環境と健康の関わりを改めて痛感する一年となりました。一転してこの冬は，厳冬と大雪で日本の環境の厳しさを改めて感じることとなりました。

さて，１年ぶりに，２号目を発刊することになり，編集委員会一同，会員の皆様のご協力に感謝しております。

本号では，原著論文（１編），昨年の学術集会のまとめとしてアレルギー分科会からの報告報告（１編），研究室紹介（１編）が掲載されております。是非ご一読いただければ幸いです。

「臨床環境医学」は，臨床と環境が交差する議論の場です。皆様からの意欲的な原著論文のご投稿を，編集委員一同，心よりお待ちしております。

鍵　　直樹